



vol.7 健康科学大学

健康科学大生としての 誇りを胸に 日々の学びを地域に還元



ストレッチ・マッサージ
提供ボランティアとして
ランナーをサポート

健康科学大学では、医療・保健・福祉の分野において、高度化・多様化するニーズに対応できる人材の育成を目指しています。「トレーナークラブ」には理学療法士を目指す学生を中心に約60人が在籍。彼らは、スポーツ大会でのストレッチ・マッサージ提供、高齢者・子どもへの運動指導、東日本大震災の被災地支援など、幅広いボランティア活動を自主的に企画・実行しています。

10月25日に開催された第6回富士・鳴沢紅葉ロードレース大会では、会場にストレッチ・マッサージブースを開設。笑顔でランナーと言葉を交わしながら手

際良くケアを行っていました。利用者からは「体の準備が整い、頑張れそう」という声。また、学生たちが積極的に地域と関わろうとする姿勢は、大会主催者の鳴沢村からも歓迎されているそうです。

彼らは、日々の授業や勉強会、トレーニングなどで得た知識と技術を地域で役立てています。そうして多くの人とふれあい、経験を積むことで、さらに自身の学びを深めています。「たくさんの方のランナーさんに利用していただき、やりがいを感じています」。雄大にそびえ立つ富士山の麓に、今後のさらなる成長と活躍を予感させる、学生たちの姿がありました。



毎年大勢のランナーが参加する富士・鳴沢紅葉ロードレース大会。トレーナークラブが開設したブースも盛況で、次々と利用者が訪れた



地域と関わり
成長できていることに
感謝しています

健康科学部
理学療法学科4年
部長 宮澤 啓太さん

僕は将来、理学療法士としてスポーツに関わっていきたくと思っています。ですから、地域の皆様のご理解とご協力の下、さまざまな経験を積めることに感謝しています。先輩方や、地域の人たちと関わる中で、人とのつながりの大切さも学びました。今、地域貢献や被災地支援に関わられていることを誇らしく思っています。



深めた学びを生かし
地域医療に
貢献していきたい

健康科学部
理学療法学科4年
渡邊 幸美さん

トレイルランニングの大会でランナーさんに接する先輩の姿に憧れ、その姿が自分の目標となりました。歴代の先輩方の実績があって、今、私たちが地域で活動できています。活動を通して、現場に出るときに必要な社会性を養うことができましたように思います。これからさらに学びを深め、卒業後は地域医療に貢献していきたいです。



実践的な学びを重ね
リーダーとなれる
人材へと
成長してほしい

健康科学部
理学療法学科
成田 崇矢 教授

学生が夢中になり誇りを持つ活動、と思いついたトレーナークラブを設立しました。何も無いところから始め、最初は手取り足取り指導していましたが、設立から7年がたち、今では先輩が後輩を指導し、学生たちが自主的にクラブを運営しています。学生には頭でっかちにならず、知識を得るとともに、さまざまな経験を積んでほしいです。その経験から学び、自信や誇りにつなげてくれることに期待しています。

【問い合わせ先】

健康科学大学
TEL 0555-83-5200(代表) FAX 0555-83-5100

健康科学大学